

2019 年度 事業計画書

社会福祉法人 慈雲会

I、法人の理念と運営方針

1、慈雲会の理念

自らが受けたいと思う福祉の創造

2、慈雲会運営方針

利用者一人ひとりのプライバシーと自立を尊重し、自己実現できるように介護します
利用者、家族、職員などがお互いの立場を尊重した民主的運営を行います。
世代間の交流を図り、生活の質を高め地域福祉の拠点を目指します。

米 理念と運営方針の明確化によって行動規範および事業計画が策定される。

II、法人全体の重点目標

今後予想される 2025 年問題を鑑みて、法人として必要十分な施設運営と今後企画立案する新規事業に対して安定した経営基盤を基に確立します。

年間重点目標

- 1、 法人全体での収入確保、支出削減に取り組みます。
- 2、 事業所の経営基盤を確立します。
- 3、 地域住民との交流を深め、介護人材の育成に努め、特に就職困難世代と言われる世代の積極的雇用を推進します。
- 4、 民主的運営を目指してハラスメント、虐待に関する知識向上や理解を深める研修を積極的に行い発生防止に努めます。
- 5、 中途採用、新規採用を問わず資格未取得職員には積極的に初任者研修受講を進め、また、初任者研修取得者には実務者研修受講を計画的に進めて将来的には介護福祉士取得を目指します。
- 6、 本年度はステップアップ制度を構築してキャリアアップを図る制度を取り入れていくこととします。
- 7、 生活環境の改善のために施設全体のメンテナンスを実行します。
- 8、 災害時編拠点として登録し地域貢献を目指します。

III、事業所事業計画

本部理念をもとに事業所の事業計画を策定します。

2 職員行動規範

- (ア)私たちは、老人福祉分野の顧客サービスにおいて地域 NO1 の施設を目指します。
- (イ)私たちは、老人福祉を通じて、地域住民に親しまれ、信頼されて、地域での永続的発展する施設づくりを目指します。
- (ウ)私たちのサービスは、福祉サービスの質の高さ、支える職員の一人ひとり「細やかな気配り、優しい笑顔、真心のこもったおつきあい」です。
- (エ)私たちは、個人としてもチームとしても、高い目標に向かってチャレンジし、その実現を通じて「生きがいやりがい」を追い続けます。
- (オ)私たちは、志を持って、努力する職員に対して惜しみない激励と支援を送り、その成長を全面的にバックアップします。
- (カ)私たちは、不断の努力を重ねることにより、その成果として、施設の業績が毎年毎年決して後退することなく前進することを大切にします。

3 事務

- 1、 基本方針、本部直轄の係であることを認識し、法人運営に視野を広げ、担当職員が協力体制をとり、性格かつ組織的に事務処理を行う。
- 2、 情報を共有して、会計基準を守った財務体質を図る。関係部署との連携を図って、計画的な予算執行を進める。
- 3、 年間予定

月	法人関係	事業所関係
4		
5	監事監査、理事会	処遇改善加算支給
6	評議員会	賞与支給
7		
8		
9	理事会	
10		
11		処遇改善加算支給
12	理事会	賞与支給
1		
2	理事会	処遇改善加算計画書提出
3	評議員会	